



事態を認識しつつも、放置、傍観し、隠蔽を

図ってきたことが広範囲に被害を拡大させた！

大手芸能事務所の元社長からの性被害を訴える声が相次いだことを受けて、外部専門家による「再発防止特別チーム」の調査で「長期間にわたり、広範に性加害が行われていた事実を認定」し、大手芸能事務所も「性加害があった」ことを認めました。

企業や業界の掟が擦り込まれ、いつの間にかそれが風土として当たり前になっている。



今回の「大手芸能事務所での性加害問題」そして、昨今起きた「大手中古車販売店での保険金不正受給」の共通点は「権力を持つ者が生殺与奪権を握り、目的達成のために人事権を振りかざし、弱い者は（人事）評価を人質に取られ、声をあげられない」ことです。

あったことをなかったことにはしない!!

従業員に不満投稿が多いブラック企業で1位となった「JR東日本」でも、パワハラや人権侵害が報告されています。8月10日、東京地方裁判所はJR東日本で複数の上司が労働組合からの脱退を強要したことを「不当労働行為」と認定し、使用者責任と会社への損害賠償請求を認めました。輸送サービス労組は、健全なJR東日本を取り戻すために、声をあげ続けます！



「労組脱退パワハラ訴訟」の詳しい内容は
[こちら](#)👉